

今年の東北の梅雨明けは一体いつになったら来るのだろうかと気にしながら、毎日ジメッとした暑さと格闘している今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

夕方、どこからともなく聞こえてくる夏祭りのおはやしだけが、不思議と夏の到来を感じさせてくれています。

十年以上前に経験した冷夏による「米不足騒動」、「タイ米チャーハン」も記憶に新しいと思いますが、今年もそのような状況に陥ってしまうのではないかと不安を感じております。その他の作物も同様で、私達人間がこの環境破壊の代償に気付くのは、今、目の前から一切の食物が採れなくなり、今日食べる物も手に入らないという状況を経験しなければその事に気付かないのかもしれない。本当に悲しいことです。そして、その時初めて動物達が飢えて里へ出て来ざるをへない気持ちも分かるのではないのでしょうか…。

ところで皆さんは「有害駆除」という言葉を聞いたことがありますか？クマ、サル、イノシシ、シカなどが農作物を食べに来たからといって捕獲オリ仕掛けて殺してしまうことです。

では一体なぜ動物たちが農作物を食べに山から下りて来るようになったのかを考えたことはありますか？

むかしむかし、人々はクマを森の神と崇め、山の奥は動物たちの聖域として一切手をつけませんでした。しかし、国策による戦後の拡大造林(スギ、ヒノキ一辺倒)、リゾート開発(ゴルフ場・スキー場・別荘地)、林道開発、地球温暖化、酸性雨など様々な要因によって豊かだった森が荒廃し、動物たちの棲みかが奪われてきました。すべては、人間社会の繁栄がもたらした結果です。もの言えぬ動物たち植物たちは一番の被害者です。

ここで、皆さんに少し考えてほしいのです。

里に出てきたクマを怖いと思う前に、なぜこのような事が起こっているのか。

動物たちは私達人間に警鐘を鳴らしてくれているのかもしれない…。

どうか動物たちの声に耳を傾けてください。

★福島県のクマの有害駆除数★

2006年 434 頭

2007年 85 頭

2008年 111 頭

ツキノワグマは IUCN(国際自然保護連合)によって絶滅危惧種に指定されています。

【7月の活動報告】

★7月2、3、4日 長崎県佐世保市へ 2007年に保護したツキノワグマ「福太郎」君が長崎県佐世保市亜熱帯動植物園にお嬢さんとしてもらわれて行き、その様子を見に行きました。 【4名参加】

- ★7月9日 ウサギのラッキーちゃん、初めての診察で郡山市の「ポピンズ動物病院」へ同行介助。 【2名参加】
- ★7月11日 横田清美氏へナチュラリスト(県自然保護協会理事)にお話を聞く。10年前まで裏磐梯に棲息するクマを調査。とても興味深いお話を聞くことができました。
- ★7月13日 会津若松市農政課へ電気柵設置の推進とその助成金制度、また農作物に対する被害補償制度の早期確立をお願いに行きました。 【2名参加】
- ★7月21日 ふくまつ君の冬眠小屋の清掃作業。 【3名参加】
- ★7月24日 ふくまつ君のオリ広場の土耕しとプール清掃。
畑のジャガイモ（ふくまつのエサ）の収穫を行ないました。 【7名参加】
- ★7月25日 畑の草むしり。雨の日が多かったせいか草もどんどん生長して
いました。 【2名参加】
- ★7月26日 近所の鳥が急に具合が悪くなり、那須町より武田獣医が来て下さり治療して頂きました。おかげでその鳥は元気になりました。
- ★7月27日 畑のジャガイモ収穫（最終）。コンテナ8個ほどのジャガイモが
収穫できました。 【6名参加】
- ★7月28日 リンゴ園へ行き電気柵設置の下準備を行ないました。 【3名参加】

活動に参加してくださった方々、本当にお疲れ様でした。今後もたくさんの方々の参加をお待ちいたしております。



詳しくは くまんち(くまの家)web をご覧下さい。
<http://www10.ocn.ne.jp/~koguma/index.html>